



# 東風

さいたま市立与野東中学校 学校だより

No.5

令和元年8月27日発行

## 「笑顔」は、パワーの源（みなもと）

校長 佐藤 和男

長い夏休みを終え、子どもたちの元気な明るい声と、たくさんの笑顔に再会することが出来ました。

笑顔と言えば、先日、ゴルフの全英女子オープンで見事優勝した渋野日向子選手。最終日が2位に2打差の単独首位の渋野選手は、それまでの3日間と同じように屈託のない笑顔でスタンドやロープ際のギャラリーに挨拶しました。そして、日本人らしく一礼。それから1番のティショットを打ちました。フェアウェイ方向へ歩き出した渋野選手は、声援を送ってくれていたギャラリーの方へ、小さく手を振り、にっこり微笑み、前方へと進んでいきました。そんな渋野選手の様子を見て、アメリカのTV中継局のアナウンサーは驚きの声を上げました。「最終日、最終組でプレーする選手が1番ティショットであんなふうには笑顔を見せ、あんなふうには観衆に手を振って歩いていくなんで、これまで見たことがない。」この笑顔がギャラリーやテレビを見ていた人たち（私も含めて）の心をつかみました。

笑顔の二つ目は、私の大好きな高校野球です。甲子園の球児たちは、常にさわやかな笑顔を忘れず、仲間がエラーをしても笑顔で、「ドンマイ！」と叫んでいる様子が、テレビ中継から伺えました。今年は惜しくも初戦で惜敗した、私の親戚の子がベンチ入りした、埼玉県代表の花咲徳栄高等学校野球部の選手たちもプレー中は笑顔を忘れず、仲間を支えながら頑張ってくれました。

そして、与野東中の子どもたちもこの夏、キラキラした笑顔で様々な面で頑張ってくれました。まず、吹奏楽部が埼玉県吹奏楽コンクール地区大会で素晴らしい演奏を披露し優秀賞、美術部のさいたま市美術部展では4名が優秀賞に、8名の生徒が佳作に選ばれました。おめでとうございます。

運動部では、県大会に団体戦で出場した軟式野球部、女子バスケットボール部、女子卓球部、体操部、そして個人で出場した、陸上部、剣道部、男子卓球部、男子ソフトテニス部、水泳の選手たちが、周りの人への感謝を忘れずに、精一杯試合に臨んでくれました。特に、野球部は、埼玉県大会準優勝、群馬県で行われた関東大会でも準優勝、そして滋賀県の津江市で開催した全国大会に出場しました。全国大会では、1回戦で惜敗しましたが、全国の中学校野球部の中でたった25チームしか出場できない全国大会への切符を勝ち取ったことはまさに快挙です。たくさんの元気をもらい、感動しました。

また、下落合公民館の「夏休みこども公民館・中学生ボランティア」には17名の与野東中生が参加し、公民館長さんから「ボランティア証」をいただきました。これも素晴らしいことです。

私は県大会、関東大会、全国大会をはじめ多くの大会やコンクールに「応援団」として臨むことができました。そして、一生懸命に取り組む子どもたちの姿にたくさんの感動をもらいました。感謝です。

さらに、与野東中の子どもたちには素晴らしい「応援団」がたくさんいます。日頃からご家庭で支えてくださっている保護者やご家族の皆様。そして、子どもたちの安全や健全育成のために、学校を常に温かく見守って下さり、ご支援・ご協力を頂いている地域の皆様です。さらに、日々、子ども達のために頑張っている、教職員の事も忘れることはできません。

2学期は、10月15日（火）に市民会館おおみやで合唱コンクールが予定されています。また、2年生が主役となる運動部の新人戦は9月28日（土）から始まります。そして、9組の子どもたちは、合同スポーツ大会が待っています。子どもたちの活躍が楽しみです。

2学期も、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

